

## 第9回 運営推進会議の施設開催中止について

令和5年3月6日に、リハビリデイサービス一生健明にて開催を予定しておりました第9回運営推進会議につきましては、新型コロナウイルス感染予防の観点から運営推進会議に関わる関係者様の安全を考慮し施設での開催を中止とし、書面でご意見を頂戴させていただくことと致しました。

差し支えなければご意見をお聞かせいただければと存じます。

意見依頼者	回答
上戸祭二丁目自治会長	回答なし
地域包括支援センター豊郷 センター長	回答なし
地域包括支援センター細谷・宝木 センター長	回答なし
地域包括支援センターきよすみ センター長	回答なし

# 第 9 回 運営推進会議

～ 運営状況について ※令和 5 年 2 月 28 日現在 ～

リハビリデイサービス 一生健明

〒320-0051

栃木県宇都宮市上戸祭町 2 5 8 - 1 KAMITO TERRACE KT-A

TEL:028-611-1831

FAX:028-611-1832

## 1. 利用者数（登録人数）

男性： 9名 女性： 40名 合計： 49名

## 2. 介護度分布

## 3. 年齢分布

介護度	男性	女性	合計	年齢	人数
事業対象者	0	14	14	65歳未満	1
要支援1	1	9	10	65～69歳	2
要支援2	2	11	13	70～74歳	9
要介護1	2	2	4	75～79歳	4
要介護2	3	4	7	80～84歳	16
要介護3	0	0	0	85～89歳	12
要介護4	0	0	0	90～94歳	3
要介護5	0	0	0	95～99歳	1
自費利用者	1	0	1	100歳～	1
合計	9	40	49	合計	49

※内、体調不良者 計2名が利用休止中。

※入退所の状況 R4年 入所5名 退所11名

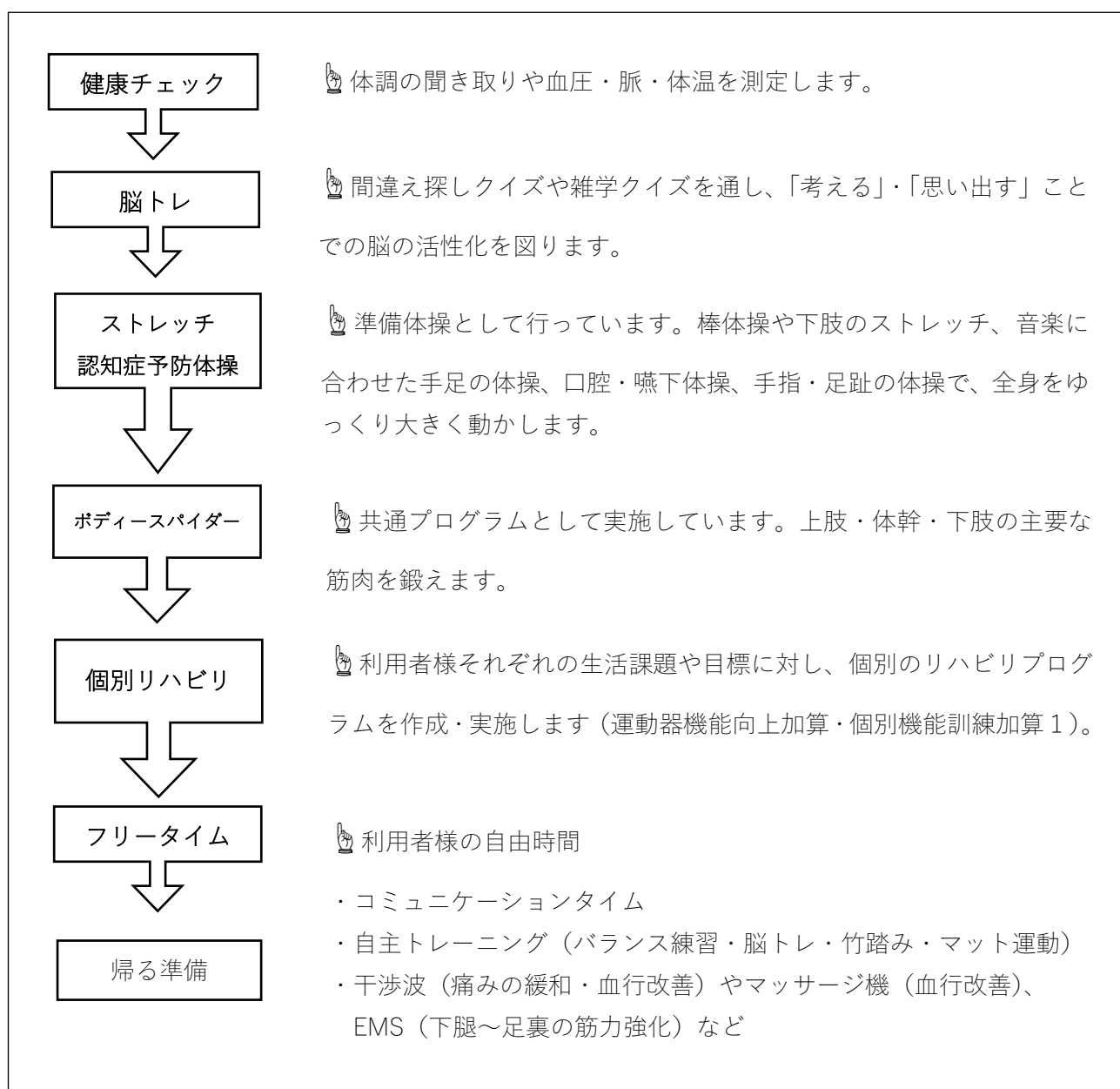
## 3. 利用者様の主な現病歴

整形疾患（脊椎圧迫骨折・肋骨骨折後の腰痛、変形性膝関節症・股関節症、脊柱管狭窄症、人工関節置換術術後など）、パーキンソン病（症候群含む）、脳梗塞後遺症（片麻痺）、進行性核上性麻痺、統合失調症、リウマチ性多発性筋痛症、認知症（アルツハイマー型、レビー小体型）、肺気腫、シェーグレン症候群、不整脈によるペースメーカー埋め込み術、加齢に伴う身体機能の低下、生活習慣病など。

## 4. 利用者様の主な利用目的

- ・加齢変化（身体機能低下、活動量の低下、意欲の低下など）の予防や改善をしたい。
- ・骨折や脳梗塞・内科的疾患後などのリハビリ病棟退院後、進行性の病気に対する身体機能・動作能力の維持・向上を図りたい。
- ・認知機能の維持・活性化を図りたい。
- ・独居者や家族・地域住民との交流が乏しい方、閉じこもり傾向のある方等、外出の機会を持って他者交流を通し精神機能の活性化、生活のメリハリをつける、生活に楽しみを持ちたい。

## 5. 日々の活動内容



## 6. ご利用者様の声

### K様 91歳 女性

〈既往歴・現病歴〉 乳がん手術（H20）、腰部脊柱管狭窄症、高血圧症（H25～）、緑内障左眼手術（H25）

〈利用開始時の状態〉

独居での生活をされており、生活動作は自立レベル。腰部脊柱管狭窄症で円背があり、痛みはないが体幹部や下肢を中心とした全身の筋力が低下傾向となっており、片脚立ち動作では左右の下肢で筋力差がある。転倒歴はないものの、屋内外で整地歩行での躓きが多く、転倒への不安がある。

〈1年後の変化〉※参考資料 図1 体力測定結果

体力測定の結果として、概ねすべての項目で改善傾向にあります。ご自宅でも自主的にトレーニングを行われており、運動に対して積極的に取り組まれています。

〈4年後（現在）の変化〉※参考資料 図1 体力測定結果

体力測定の結果として、左脚の片足立ちバランス動作の項目で数値の向上がみられ、下肢の筋バランスの改善が図れております。転倒や躓きなく過ごす事ができており、ご自身で家事動作も継続されております。外出機会が増え、お友達との外食やデパートへの買い物等のお約束で、お休みされる事が多くなりました。ケアマネージャーとも相談し、年内で利用を終了することになった。

〈ご本人様より〉

姿勢は気になるが身体の痛みもなく大変調子が良いので、お友達と楽しく外出することができております。元気な為、年内で利用を終了したいと思います。

・参考資料 図1 体力測定結果

体力測定項目	初回 87歳	1年後 88歳	2年後 89歳	3年後 90歳	4年後 91歳現在
握力（右手/左手）	13.1 kg/12.0 kg	15.1 kg/12.4 kg	15.6 kg/14.2 kg	13.5 kg/13.2kg	14.8 kg/12.6 kg
ファンクショナルリーチ	19.7 cm	22.7 cm	16.1 cm	16.1 cm	17.5 cm
片足立ち（右脚/左脚）	35.97 秒/9.90 秒	28.5 秒/14.55 秒	29.91 秒/13.63 秒	19.64 秒/5.84 秒	22.48 秒/19.61 秒
5 m歩行（通常/最大）	5.44 秒/4.42 秒	4.87 秒/4.48 秒	5.31 秒/4.23 秒	5.02 秒/4.27 秒	5.16 秒/4.48 秒
TUG	11.03 秒	9.09 秒	8.56 秒	8.56 秒	8.81 秒

## 7. 事故・ヒヤリハット

### 〈ヒヤリハット報告… 2件〉

ヒヤリハットの種類・利用者様状況	状況・対応の結果	今後の課題
<p><b>転倒未遂</b></p> <p>令和3年1月に宇都宮に転居し、娘夫婦と同居。加齢（101歳）による筋力低下で、自宅内で複数回転倒歴がある。屋内では壁や家具などを伝え歩きにて移動し、屋外では歩行器又は一部介助にて、自宅近郊や公園を散歩されている。</p> <p>※R4.1～コロナ渦により通所を自粛し、R4.4月～再開。</p> <p>※R4.6月～自宅近郊で転倒し、頭打。</p>	<p>令和4年11月18日（木）16:15頃</p> <p>※来所時のバイタル：36.1℃、152/85、91回）</p> <p>※体調：変化なし。</p> <p>運動レクリエーション（ポッチャ）中に、急に椅子から立ち上がり後方へふらつかれる。隣で見守りを行っていたスタッフが側方から抱え、転倒に至らず。体調を伺った所、大丈夫ですとの返答。運動を再開し、その後もお変わりなく実施される。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・スタッフの介助なしで動作を開始しようとする場面があるため、椅子からの立ち上がり～着座するまで見守り又は一部介助しながら行う。</li> <li>・立ち上がり動作時の後方へのふらつきに注意が必要。</li> </ul>
ヒヤリハットの種類・利用者様状況	状況・対応の結果	今後の課題
<p><b>急病</b></p> <p>40代で糖尿病により内服治療。</p> <p>2011年：下肢の運びが悪くなり通院。</p> <p>2018年夏：自宅の寝室で転倒し、左上腕骨折、手術施行。</p> <p>2019年2月：脊柱管狭窄症の手術、血糖コントロールで教育入院。</p> <p>2019年7月：暑さの影響で脱水症状になり、自力での移動や立ち上がり・歩行器歩行が困難となり、車椅子生活となった。</p> <p>2019年8月～デイサービスの利用が開始し、生活全体を夫の介助を要していたが、現在はピックアップでの生活となり、入浴・洗身介助のみでその他のADL動作は概ね自立している。事業所内移動時ではスタッフによる見守りが必要で、立ち上がり動作や歩行動作などが不安定。時折失禁がみられる事がある。</p>	<p>令和5年1月20日（金）10:10頃</p> <p>※来所時のバイタル：(35.9℃、121/76、66回)</p> <p>※体調：変化なし。</p> <p>ボディースパイダー前半の運動（上半身）を実施後、椅子に着座され、水分補給をされる。後半の運動を再開しようとして立ち上がる際にふらふらするとの訴えがあった。</p> <p>※バイタル再測定（105/70、102回）</p> <p>ご本人様に最近のご自宅での水分摂取について尋ねた所、あまり飲んでいないとお話があった。糖尿病・脱水症状の既往があり、事前にOS1を預かっていた為、飲んで頂く。</p> <p>ボディースパイダー（後半）は見学し、30分後、体調確認を行った所「体調は良くなった」とお話があった為、その後の運動プログラムを再開した。</p> <p>送迎時に、ご家族にその旨を報告。「冬場は特にトイレに行くのが面倒な為、水分をあまりとらない」とご家族からお話があった。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ご利用時のバイタル確認や体調確認、施設内での水分補給の促しを行う。</li> <li>・ご自宅での水分摂取状況など随時確認を伺う。</li> </ul>

## 〈事故報告… 1件〉

事故の種類	件数	詳細
<b>転倒</b> 令和3年1月に宇都宮に転居し、娘夫婦と同居。加齢(101歳)による筋力低下で、自宅内で複数回転倒歴がある。屋内では壁や家具などを伝え歩きにて移動し、屋外では歩行器又は一部介助にて、自宅近郊や公園を散歩されている。 ※R4.1～コロナ渦により通所を自粛し、R4.4～再開。 ※R4.6～自宅近郊で転倒し、頭打。	1件	令和4年12月16日(木)16:15頃 座位での運動終了後、急に椅子から立ち上がり、「お待ちください」と後方にいた職員が声をかけたが右側後方へふらつき、職員がかかえようとするが間に合わず床に転倒される。 機能訓練指導員が痛みの有無・バイタルを確認する。 ※バイタル：(36.1℃、146/86、82回) 身体の痛みや運動制限もない為、スタッフの介助にて立ち上がり、椅子まで移動される。その後休憩され、スタッフが付き添いながらご自身で車まで移動され、送迎にて帰宅される。 送迎時にご家族に状況説明を行った所、「転んだ時にすぐに立ち上がれたか」と問われた為、立ち上がれましたとお伝えすると、「自宅内でも転倒を繰り返しています。」とのお話があった。

## 8. 年間行事、職員研修の実施状況

事業所内研修会(年2回)、職員研修・運営会議(月1回)

新入職員研修・感染症予防対策・虐待防止等の研修(年1回)、避難訓練(年2回)

## 9. 利用者の健康管理に係る取り組み(新型コロナウイルス感染症対策等)

- ・スタッフ及び利用者のマスク着用・検温。
- ・手指消毒(運動後・接触後に、アルコール消毒液で手指の消毒)。
- ・バイタルチェック(体温・血圧・脈拍・体調の確認)
- ・室内温度・湿度管理(温度計や湿度計、換気や加湿器を使用)
- ・施設内接触箇所や使用用具等を適時アルコール消毒液で拭き掃除。
- ・運動時のソーシャルディスタンスの確保。
- ・使用済みタオルや枕カバーなど洗濯等。

引き続き、日々の活動場面での危険予測や対応、環境整備、スタッフ間のダブルチェック体制・コミュニケーションを図り、安全・安心のサービスを心掛けて参ります。また万が一、事故等が発生した場合には、適切な対処と再発防止に努めて参ります。